

としょかんワークショップ「みんなで話そう未来の図書館」 高校生・20代編、一般編を開催しました

「新花巻図書館整備基本計画」素案の策定にあたり、新花巻図書館を生涯学習の拠点施設として、市民ニーズに的確に対応できる機能を備えることを目的に広く市民から意見等をお聞きすることを目的に、また、高校生・20代には、準備段階から関わることで建設後も新花巻図書館に愛着を持って利用してもらえることを目的とし、としょかんワークショップ「みんなで話そう未来の図書館」高校生・20代編、一般編を開催しました。

としょかんワークショップ「みんなで話そう未来の図書館」の概要

【高校生・20代編】（ホームページ等による一般公募）

- 1 開催日時 第1回 令和2年7月25日（土）参加者 高校生22名 20代15名 計37名
 第2回 令和2年8月8日（土） 高校生21名 20代15名 計36名
- 2 テーマ 第1回「図書館ってどんな場所？」
 第2回「花巻にこんな図書館がほしい！」
- 3 内容 第1回 新花巻図書館整備の経緯を説明ののち、アドバイザーの富士大学経済学部教授 早川光彦氏が図書館の使われかたいろいろ」と題して講演。その後、「こんな図書館がほしい！」をテーマにグループワークによるアイデア出し。
 第2回 第1回のアイデアをもとに「本・資料」「サービス」「環境・空間」「場所」に整理、アイデアのブラッシュアップ、班ごとにテーマを設けて全体発表。

【一般編】

- 1 参加者 ①広報・ホームページ等による一般公募 12名
 ②各関係団体から 10名
 ※花巻市芸術協会、花巻市地域婦人団体協議会、花巻商工会議所、公益社団法人花巻青年会議所、花巻市PTA連合会、読書ボランティア団体、学校図書館関係者、その他図書館に関する活動を行っている団体等
 ③高校生・20代 18名（第3回から参加）

ワーク	日時・場所	内 容
ワーク① ＜勉強会＞	8月23日（日） 9：00～12：00 花巻図書館・東和図書館	・見 学：市内の図書館（花巻図書館と東和図書館） ・基調講演：「図書館の可能性」（仮題） 講 師：富士大学 早川光彦 教授 参加者：一般公募・団体等21名
ワーク② ＜参加者交流＞	9月13日（日） 9：00～12：00 なはんプラザ COMZホール	・全体共有：みんなでやさしい基本構想（説明会） 説明者 生涯学習部 ・ワールドカフェ テーマ：図書館で今「〇〇〇〇」こと。 「やってみたい」、「やれる」、「求められている」、「ゆずれない」など。 参加者：一般公募・団体等20名
ワーク③ ＜アイデア出し＞	9月27日（日） 9：00～12：00 花巻市交流会館 交流スペース	・ワークショップ テーマ：新花巻図書館の「〇〇〇」 「本・資料・情報」、「運営・サービス」、「建物・環境・施設・家具」など、前回のアイデアをもとに分類、各班で重点を話し合い、各班でまとめた重点を全体発表。 参加者：一般公募・団体等21名、高校生・20代10名 合計31名
ワーク④ ＜「サービス」を考える＞	10月11日（日） 9：00～12：00 花巻市交流会館 交流スペース	・ワークショップ テーマ：「つくってみようみんなのとしょかん①」 ①前回導き出した「重点」から具体的なサービスを考える。 ②基本構想の整備方針に当てはめながら、①で考えたサービスを文書化して全体発表。 参加者：一般公募・団体等21名、高校生・20代12名 合計33名
ワーク⑤ ＜「場所」を考える＞	10月25日（日） 9：00～12：00 花巻市交流会館 交流スペース	・ワークショップ テーマ：「つくってみようみんなのとしょかん②」 市がこれまで検討してきた建設場所等について参加者に説明ののち、第4回で考えたサービスと機能が発揮できる「場所」を考えて全体発表。 ※第5回では、ワークショップ参加者にアンケートを実施 参加者：一般公募・団体等21名、高校生・20代11名 合計32名

▶【高校生・20代編】

班ごとに「気軽に行けて学校以外でもみんなと集まりやすい図書館」「花巻の学生に絶対必要図書館」などユニークなテーマを設けて発表し、「本・資料」「サービス」「環境・空間」「場所」のほか、各班で独自の分類を設定してアイデアをまとめ、若い視点ならではのアイデアが多数出ました。

＜一例として＞

「本・資料」：＜最新の研究論文が読める＞＜大学のパンフレット、就活に関する資料が充実＞
＜本以外の資料（CD、DVD、おもちゃなど）も充実＞

「サービス」：＜ちゃんとしたwifiがある＞＜電子書籍に対応＞＜話しかけやすい司書がいる＞

「環境・空間」：＜一人でいるスペースと会話できるスペースがある＞＜飲食ができる空間がある＞
＜子どもとのびのびできる空間がある＞

「場所」：＜駅が近くて交通の便が良い＞＜駐輪場が近い＞
＜電車・自転車・バスのアクセスがとても良い＞

▶【一般編】

・第4回では「新花巻図書館整備基本構想」の整備方針に基づきサービス計画・内容を文章化しました。

＜一例として＞

○「施設に関すること」：＜wifiを完備＞＜休憩のできるカフェスペース＞＜利用者の年齢に応じて本棚の高さを変える＞＜お年寄りや身障者等でも利用しやすいように通路幅を広く＞＜緑を感じる建築（緑色のカーテン、屋上庭園、中庭）を取り入れる＞＜市民に広く開かれた「知の倉庫」目指すため、ロボットやタブレット等の最先端技術を導入＞＜SLが見える一番のスポットとして整備し、賢治の作品をモチーフとした花巻らしい図書館＞

○「蔵書資料に関すること」：＜実用的な本、ライトノベルや雑誌など世代のニーズに合わせた本を設置＞＜利用者が選書した本を紹介するなど、利用しやすく、資料をリクエストしやすい環境＞＜観光・市民生活・産業・歴史等「花巻市」を知るための情報の収集・提供に努める＞＜花巻へ訪れた旅行者が立ち寄って多くの偉人をワンストップで見ること・知ることを可能にする＞＜色々な資料（ゲームやマンガなども）を欲しいに優劣をつけず、バラエティ豊かな蔵書にする＞＜読み上げ機能や拡大機能を含む障がいがあっても、誰でも閲覧できる形で資料を提供＞

・第5回では、前回話し合ったサービス計画を実現できる立地場所について、まなび学園周辺、駅周辺、その他についてそれぞれのメリットデメリットを洗い出し検討しました。

まなび学園周辺

○メリット：＜花巻小学校・花巻城が近い＞＜まなび学園や子どもセンターなどと連携が図れる＞
＜緑が多く自然を感じられる＞＜静かで過ごしやすい＞

○デメリット：＜周辺が暗く夜間が心配＞＜道路が狭く入り組んでいる＞＜バス利用が難しい＞

駅 周 辺

○メリット：＜若い人の行動範囲にある＞＜SL銀河が見られる＞＜夜も周辺が明るい＞
＜観光客、車のない人にも利用できる＞

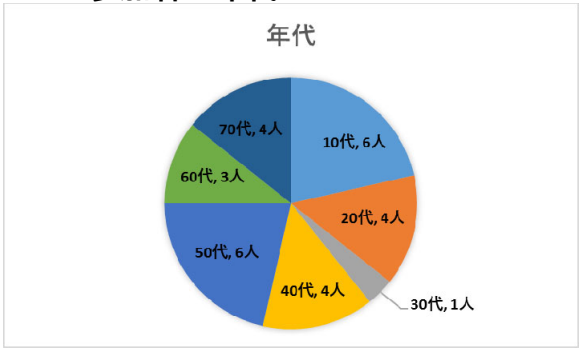
○デメリット：＜駐車場が狭い＞＜立体駐車場が怖いという人もいる＞
＜まなび学園と比べて周辺に緑が少ない＞＜駐車場と図書館が離れている＞

※なお、まなび学園周辺、駅周辺のほかの立地場所として、イトーヨーカ堂東側空き店舗、駅西口方面（材木町公園、北東金属グラウンドなど）、東公園（新興製作所跡地）、花巻市交流会館（花巻市の中心として）などの意見も出ました。

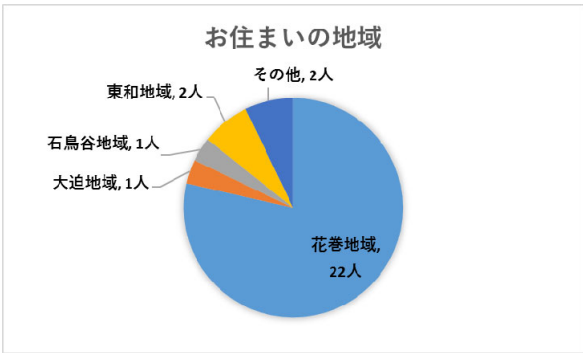
第5回アンケートの結果

第5回にはワークショップ参加者に、市がこれまで検討した建設場所について説明し、建設場所等に関するアンケートを行いました。

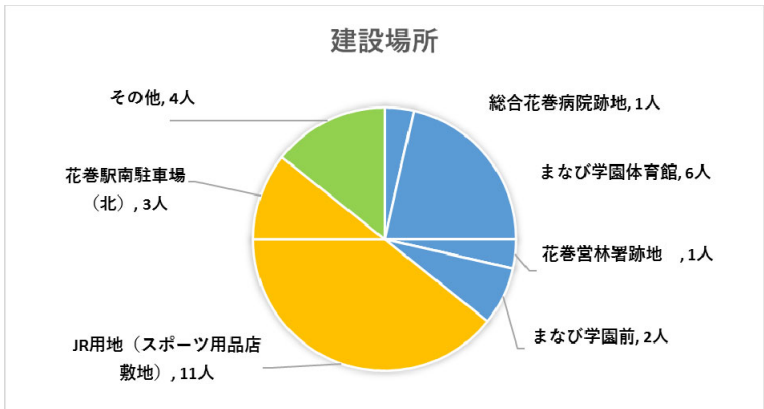
1 参加者の年代



2 参加者がお住まいの地域



3 図書館の建設場所はどこが望ましいかお聞かせください（一つだけ選択）



4 花巻駅周辺のJR用地（スポーツ用品店敷地）に図書館を建設することについて、市民から「反対」の意見がでております。花巻駅周辺のJR用地（スポーツ用品店敷地）についてご意見をお聞かせ下さい。

①JR用地（スポーツ用品店敷地）はそもそも反対である	5人
②JR用地（スポーツ用品店敷地）は50年の定期賃貸借（土地を借りる）でも賛成	12人
③JR用地（スポーツ用品店敷地）は良いが、定期賃貸借（50年間）に反対である	10人
1）50年に限らず市が希望する年数（50年以上）借用できればいい	0人
2）1）にも反対。市が土地を所有することとすれば良い	6人
3）分からない	2人
4）その他	1人
※ 未回答	1人
④JR用地に関して未回答	1人

5 図書館の施設形態についてお聞かせ下さい

①複合図書館がよい	18人
②単独図書館がよい	9人
③その他	1人

⇒「①複合図書館がよい」とした場合必要な施設をお聞かせ下さい（複数回答可）

ア：賃貸住宅	0人
イ：ホテル	0人
ウ：カフェ	15人
エ：コンビニ	7人
オ：書店・文具店等	7人
カ：イベントホール	8人
キ：健康施設	2人
ク：ライブスタジオ・キッチン等	5人
ケ：行政・文化施設等	9人
コ：その他	2人